

ACQUITY UPLC/ Xevo G2 QTof 使用ルール ver. 2

- ・装置の使用開始時にセンター利用申込書を提出して下さい。
- ・初めて使用する人は必ず使用法を習熟した人の指導のもと使用して下さい。
- ・次の予約者に受け継ぐ際はカラム・サンプルコーン・ラインの洗浄をしっかりと行なって下さい。
- ・予約は基本として、**化合物スクリーニングに関する測定については 10 日、それ以外の測定については 5 日とします。**もしこれを超える測定になる場合はセンター職員に連絡して下さい。
- ・**装置の不具合が起こった場合、予約の調整を行いますのでご協力をお願いします。**
- ・**測定が予定より早く終了した場合は、センター職員にご連絡ください。**
- ・予約は、創薬センター・化合物スクリーニングに関連する予約については 1 ヶ月前から、それ以外の実験は 2 週間前からとします。
- ・メンテナンスに必要な試薬・消耗品はセンター保管の試薬・物品を使用してください。必要なときは薬品庫・物品庫から出すのでセンター職員に声をかけて下さい。
- ・カラムやバイアル、移動相の有機溶媒などの消耗品は原則各自で用意して下さい。化合物スクリーニングに関連する実験の消耗品については別途ご相談下さい。
- ・メンテナンスおよびサンプルの測定に共通の試薬・物品を使用したい場合は使用数、使用量等をセンター職員に報告して下さい。
- ・移動相だけでなく、サンプル調製も含めて試薬はすべて HPLC グレード以上を使用して下さい（LC/MS 用は HPLC 用と値段が変わらないことが多いので、LC/MS 用を推奨）。
- ・使用するサンプル、移動相はフィルターを通して下さい。
- ・瓶、メスシリンダーは ACQUITY UPLC/ Xevo G2 QTof 専用の物を用意して下さい。洗剤（界面活性剤）で洗った物はコンタミの危険があるので絶対に使用しないで下さい。
- ・作製するプロジェクトには所属の名前を入れて下さい。
- ・使用後の試薬・溶媒・物品は装置使用終了後、各自で整理して下さい。
- ・溶媒の入った瓶には作成の日付と溶媒の組成を記載して下さい。
- ・何かトラブルがあった場合は必ずセンター職員に報告して下さい。

洗浄について

洗浄溶媒は各自使用したサンプルの溶解度が高いもの（LC のグラジエント後半の組成に近いもの）を適宜使用して下さい。使用した LC のラインだけでなく、サンプルニードル、サンプルシリッジ、シールウォッシュ洗浄、MS の洗浄も行なって下さい。

LC 洗浄手順

使用する溶媒はクイックガイド p27 ページを参照して下さい。

- 1) MSに廃液がいかないようにMS tuneのFluidics タブのSample Flow control のFlow state のWasteを選択する
- 2) クイックガイド p28~33 の手順に従って洗浄溶媒で置換する。

MS 洗浄手順

- 1) MS tune の Fluidics タブの Sample Flow control および Lock spray control の Flow state を infusion に選択
- 2) Reservoir を Wash に選択
- 3) Purge をしてサンプルの送液開始
- 4) MS のピークで intensity が e2 以下になるまで流す。
- 5) Cool.ipr を開く
- 6) 冷えたらサンプルコーン，コーンカバー，バッフルを取り出し，メンテナンスガイド p1~7 に従って洗浄する。